

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	災害に強い地域づくり推進事業
事業主体 (連絡先)	木曾町 (〒397-8588 長野県木曾郡木曾町福島 2326-6)
事業区分	(4) 安心安全な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	5,855,724円 (うち支援金: 3,927,000円)

事業内容

安全パトロールの実施

本格的な登山シーズンとなる6月から11月にかけて、民間委嘱したパトロール隊との連携による、登山者、登山道の安全監視業務及び、有事の際は登山者の避難誘導を行う。



【パトロール隊による
登山道の点検・整備】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①登山道内の雪渓管理、浮石除去などの軽微な修繕により、登山者の安全確保ができた。
- ②登山届提出の呼びかけや、入山規制付近での指導、立入禁止区域へ侵入者の確保・警察等関係各所への連絡、登山者への声かけなど一定の啓発活動ができた。
- ③9月3日に情報伝達など、有事に備えた訓練を行った。
- ④パトロール日誌における登山者数は、平成28年度4,395名、平成29年度4,080名と前年より減ったものの27年度より増加しており、今後山頂まで登れるようになった際は増加が見込まれるため、継続的な啓発、登山道管理が必要となる。

- ①登山道の安全確保
- ②火山における安全な登山の啓発
- ③有事の際の避難者の誘導
- ④上記対策による登山者の動向

【目標・ねらい】

※自己評価 【 B 】

【理由】

予定していた左記効果が得られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

御嶽山を訪れる人の中には、2014年噴火により犠牲者が出たという事自体知らない人がいるなど、噴火災害の風化が懸念される。

御嶽山は活火山であり、火山活動により犠牲者が出て未だに行方不明者がいるという事実を正確に伝え、登山者自らが自分を守るための意識づけにつながる啓発活動を行いたい。

また、本年度立入禁止区域に侵入した人がいた。今後本格的な整備を行うが、その際一般人が立ち入らないよう注視が必要。

整備終了後山頂まで上がれるようになった際は、山頂部での滞留の防止や、安全器具の確認などが必要となってくる。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある